

令和3年度事業報告

<情報提供事業>

○楽しい子どもニュース「アッタくん」の発行

毎月発行で189号から200号まで計12回発行した。イベントの告知や報告だけでなく、スタッフの紹介を載せたり、地域で活躍されている方やB-Net子どもセンターに関わる地域の方々を紹介したりすることができた。

現在、町内2つの小学校(酒々井小学校、大室台小学校)、スーパー(ナリタヤ、SENDO、タイヨー)やJR酒々井駅、公共施設(酒々井役場、酒々井町中央公民館、プリミエールなど)、社会福祉協議会、みんなの居場所KOKO、順天堂大学などに配布させていただいている。

内容	実施日	収入	支出	
情報紙 楽しい子どもニュース 「アッタくん」の発行	毎月1回1300部発行	0	情報紙用紙代	32,209
			印刷代	24,240
	合計	0		56,449

○ホームページの運営

内容	実施日	収入	支出	
インターネット	随時	0	アサヒネット	56,760
			ウイルスバスタークラウド3年版	16,090
	合計	0		72,850

○B-Net 掲示板

B-Net子どもセンターのフェンスに設置しているB-Net掲示板を活用し、イベントの告知や町のイベントのポスターを掲示した。B-Netの活動に参加して下さっている子どもの保護者だけでなく、地域の方々に情報を提供することができた。今年はポスターをほぼ毎回のイベントで作成し、広報活動に力を入れた。また、町のイベントのポスターの掲示も積極的に行い、情報提供事業の役割を果たしている。

<子育て支援事業>

子ども教室「アッタくん」やイベントに参加する子どもたちから、年間登録料として2,000円（子ども教室運営費1,200円、年間保険料800円）を徴収した。登録者数は19人であった。保険はスポーツ安全保険で、活動中、通常経路往復中の事故に対応し、保険期間令和3年4月1日から令和4年3月31日まで適用され、保険加入者数は19人であった。

		収入	支出
B-Net 登録人数	19人	38,000	
スポーツ安全保険加入	19人		15,200
スポーツ安全保険加入スタッフ	31人		53,150
合計	50人	38,000	68,350

§ 自然体験・文化体験・宿泊体験

平成23年から小学校で新たな学習指導要領が導入された。3年度のB-Netもその中に記載されている「生きる力」の育成を目指し、様々なイベントを行うことを予定していた。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、実施することができなかったイベントがあった。そのような状況下でも、稲刈り、芋掘り、クリスマスイベント、スポーツイベント、など様々なイベントを行うことができた。その際には、新たな気づきや知識を得られる内容のイベント企画運営を行なった。本事業を通し、子どもたちの中に何かしらの成長や感情を残していけたらと、子どもたちとの関わりの中で感じられた。また、スタッフも子どもたちや地域の方々との関わり、イベントを企画運営する考え方の習得等、貴重な経験を通し、成長を得ることができる重要な事業であった。

4月の筍掘り、5月の田植え、芋の苗植え、6月の和菓子作り、11月の芋掘り、12月のクリスマス、1月のお正月イベントに関しては子どもゆめ基金から助成金をいただくことができた。

《子どもゆめ基金助成金事業》

内 容	参加人数	収 入	支 出	収支
4月18日 筍掘り いざ！タケノコ探しの旅へ！ 場所：酒々井町馬橋地区	助成金 参加小学生 14人 幼児 1人 保護者 8人 スタッフ 10人	22,598 11,450	34,188	-140
5月8日 田植え みんなでenjoy～お米パラダイス 場所：根古谷	助成金 参加小学生 16人 保護者 3人 スタッフ 16人	40,000 6,120	59,899	-13,779
5月23日 芋の苗植え さあ！お芋ちゃん達に会いに行こう！ 場所：酒々井町西井戸	参加小学生 10人 幼児 2人 保護者 2人 スタッフ 8人	4,160	32,506	
11月3日 芋掘り さあ！お芋ちゃん達に会いに行こう！ 場所：酒々井町西井戸	助成金 参加小学生 10人 幼児 2人 保護者 2人 スタッフ 19人	58,648 10,980	41,282	0
6月13日 和菓子作り おいでやす、和菓子作り体験いかがどすか？ 場所：公民館	助成金 参加小学生 21人 幼児 1人 保護者 3人 スタッフ 17人	26,705 12,630	39,255	80
12月18日 クリスマス B-Net わくわくクリスマスパーティー 場所：公民館	助成金 参加小学生 22人 スタッフ 11人	29,720 6,920	37,185	-545
1月8日 お正月 えガオーいっぱい2022！ 場所：公民館	助成金 参加小学生 10人 保護者 2人 幼児 2人 スタッフ 14人	20,280 4,880	25,160	0
	子どもゆめ基金合計 参加費、保険料など	197,951 57,140		

※収入の上段は子どもゆめ基金からの助成金。下段は参加費、保険料などである。

《それ以外の事業》

内 容	参加人数	収 入	支 出	収支
7月24日(土) スポーツイベント 場所：酒々井小学校	参加小学生 8人 スタッフ 19人	2,480	282	2,198
7月26日(月) 29日(木) 学習会 場所：B-Net 子どもセンター	参加小学生 15人	300	900	-600
10月16日(土) ハロウィン 場所：公民館	参加小学生 25人 幼児 3人 保護者 3人 スタッフ 12人	9,310	3,843	5,467
11月21日(土) ドッジボールイベント 場所：大室台小学校	参加小学生 21人 幼児 2人 保護者 2人 スタッフ 12人	6,660	400	6,260
12月4日(土) 体操教室 場所：酒々井小学校	参加小学生 10人 スタッフ 13人	3,180	300	2,880

B-Net 子ども教室 アッタくん

本年度の B-Net 子ども教室は「放課後に子どもたちが安全に、そして安心して遊べる“居場所”をつくること。また、子どもたち自身でルールを考えて遊びを展開することで、創造性や協調性を養う」ということを目標に活動を行ってきた。

近年、大幅な登録人数減少が課題とされていたが、今年度の参加人数は平均 11 人ほどと、わずかながら参加人数の増加を果たすことができた。情報誌にアッタくんの参加募集を載せるなどの取り組みに加え、以前からアッタくんに登録してくれている家庭からの紹介によって、登録人数が増えたと考えられる。参加してくれた子どもは毎回ほとんど同じメンバーであったが、学年に関係なく互いに協力し、助け合いながら楽しく活動していた。また、子ども同士で声を掛け合い、屋内で過ごすことの多い子どもが外で遊ぶことが増えたなど子どもたちの間で厚い友情関係が生まれ、参加人数が少ないからこそ良い面もあった。また、ハロウィン、クリスマス、水遊び、火起こしなど子どもたちの興味関心に合わせ、学生スタッフが企画して行った。

B-Net 子ども教室アッタくんでは、小学生と大学生、さらに地域の方々という普段の生活ではなかなか関わるることができないような交流を実現している。子どもたちにとって先生とも、親とも違った、お兄さん、お姉さんと遊ぶことや地域の方との交流は新しいことの連続であり、いい刺激を与えられているのではないかと。また、学生にとって本事業を通し考え、学ぶことは多く、多くの地域住民からのご協力のもと、日々努力することができ、それによって活動を展開することができた。

毎週木曜日放課後から 17 時まで 23 回運営。年間約 266 人参加

今年度は 4 月～7 月、10 月～12 月の期間に実施。

場所：B-Net 子どもセンター 平均：11 名参加 (令和 2 年度は平均 8 名)

《活動写真》



○酒々井町放課後子ども教室

新・放課後子ども総合プランとは放課後に子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進するため、各区市町村において、文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」と、厚生労働省の「放課後児童健全育成事業（児童クラブ）」を一体的あるいは連携して実施する、総合的な放課後対策事業のことで地域の方々からのご協力を得て、勉強やスポーツ、文化活動を行い、他学年の児童や地域住民との交流などを目的とした活動である。

平成 19 年 10 月から酒々井町で放課後子ども教室事業が始まった。平成 20 年より町から委託され、企画・運営を行ってきた。

放課後子ども教室には地域で子どもを育てる社会教育の役割がある。地域の方を中心とした安全監視指導員と学生スタッフの併存した教室運営により、社会教育に厚みをもたせ、保護者、児童どちらのニーズにも広く対応することができた。さらに、今年度も地域の方々にはたくさんの教室を開いていただき、充実した体験活動を提供することができたと思う。

しかし、3 年度は新型コロナウイルスの影響で 10 月～1 月の 4 ヶ月のみでの実施となった。また、参加学年を 1 年～3 年に限定して行い、さらにアルコール消毒や検温、マスク、パーテーションなど様々な感染対策を行いながら、子ども達の安全を確保できるような形で実施した。

今後も子どもたちに様々な体験・経験をしてもらえよう、またより充実した放課後の時間の提供に尽力し、さらに安全に配慮しながら運営していきたい。

【活動日時・場所】

- 酒々井小学校（主に体育館・ランチルーム・多目的ルーム）
毎週火曜日放課後～午後 16 時 30 分まで（11,12,1 月は 16 時まで）
- 大室台小学校（主に体育館・大ちゃんルーム・校庭）
毎週月曜日放課後～午後 16 時 30 分まで（11,12,1 月は 16 時まで）

小学校	内 容
酒々井小学校	開催日数 9 回、参加人数のべ 309 人 折り紙教室、書道教室、篠笛・昔遊び教室、スクエアダンス教室、将棋教室、マジック教室、
大室台小学校	開催日数 7 回、参加人数のべ 280 人 卓球教室、折り紙教室、書道教室、篠笛・昔遊び教室、スクエアダンス教室、将棋教室、マジック教室

例年 2 月に放課後子ども教室参加者(子ども、保護者、教職員、指導員)を対象にしたアンケートを実施していたが、新型コロナウイルスの影響で 1 月 11 日の酒々井小での実施以降、放課後子ども教室を実施することができず、アンケートをとることができなかった。また、令和 4 年 4 月上旬に酒々井小学校、大室台小学校両校の教頭先生、酒々井町役場子ども課の方々、スタッフの代表数名で 3 年度の反省と 4 年度への改善点などを話し合った。

<町づくり等事業>

○B-Net 子ども食堂

昨年度に引き続き今年度も、B-Net 子ども食堂を B-Net 子どもセンターを開催場所として行った。実施の背景として、近年の子どもの貧困化、それによる子どもの孤食問題がある。これらの問題の解決のため 2012 年より、子ども食堂は全国で急激に増加しており、子どもの貧困問題は酒々井町も例外ではない。しかし、酒々井町に子ども食堂はなかった。そこで、酒々井町の貧困層の子どもたちに温かく人と食べる食事を届けるべく、B-Net 子ども食堂を実施した経緯である。

実施日が原則第 1・3 金曜日の月二回とし、祝日は休みとした。実施形態は原則テイクアウトの形を取り、密にならないように心掛けた。食事代は、子どもは無料、大人は 200 円とした。

今年度は、歳末助け合い募金配分助成金(社会福祉協議会)30,000 円をいただき、さかえ・しすいワーク・ライフサポートセンターをはじめとする地域の方々から、お米や食材の提供をしていただくことができた。今年度は、地域の方の割合も増え、少しずつ酒々井町の人々への認知が広がってきたのを感じた。しかし、本来の目的である、必要とする子どもへの食の提供がなされているかどうか分からないのが現状である。見ただけで確認することは非常に困難であり、必要とする子どもたちに B-Net 子ども食堂の情報を確実に届けていくことが課題としてあげられる。

次年度も酒々井町の子どもに安心して温かいご飯を食べることのできる一つの場所となるように B-Net 子ども食堂を続けていきたい。

- 4月16日 株式会社 ほがらか 社会福祉部長 尾内保之さんよりお米 30kg
- 6月4日 炭酸飲料檸檬フレーバー 1箱(30缶)、コーヒー缶&ペットボトル 10本、インスタントコーヒー1瓶、ペットボトルお茶 5本、ハーブティー3箱、レトルトカレー5個、米酢 1.8リットル、サラダ油 350ml 5本、オリーブオイル 457g 2本、オリゴ糖 1ℓ、うどんスープ 5箱、マヨネーズ 310g、カルピス原液 1本、抹茶 2袋、缶詰 4個、ゼリー5個、のり 3個、焼きのり 10枚×3、もち麦 800g、わかめスープ 1箱、ホットケーキミックス 1個、クラッカー1個、フルーチェ 1個、ピザトーストソース 1個、ちぢみのたれ 1個、ミックスビーンズ 3袋、羊羹 17個、ポップコーン 1袋、杏仁豆腐 1個、たこ焼き粉 1個、野菜だし 1個、シュガーパウダー 1個、インスタントラーメン 1個、カレーうどん 1個、お茶(粉) 1個
- 6月29日 ジャガイモ、玉ねぎの寄付 西三里塚 竜崎かずひこ様
- 7月2日 社会福祉協議会の方より、新潟県産コシヒカリ 5キロ×6袋、サバイバルパンチョコチップ味 48個、
- 9月3日 社会福祉協議会を通じて地域の方より、19年度玄米を 30kg×5袋
- 9月17日 こども課宮田さんよりクオカード 500
- 10月26日 ワークライフ栄より食品をいただく。
サトウのごはん 10個、切り餅 1kg、レトルカレー 4袋、はちみつ 1kg、油 2本、オリーブオイル 3本、鍋つゆ 5個、ホルシ缶 1kg 1個、ミソ缶 6個、トマト缶 1個、焼きのり 10枚×4個、そば 3袋、キノコのクリームソース 8袋、ナポリタンソース 1個、ペットボトルお茶、ジュース 4本、豆乳 1kg 1本、そばつゆ 1本、フルグラ 800g 1個、ババロアの素 1個、ヒジキ 2個、つくだ煮 1個、ふりかけ 1個、ゆず茶 2個、ぜんざい 2個、水羊羹 2個、米粉 1袋、中華そば 1個、お菓子 10種類、コーヒー 5袋、味噌 300g 2個、保存食 2個、みつ豆 1個
- 12月3日 にんじん約 3kg の寄付 西三里塚 竜崎かずひこ様

- 12月17日 朝市 小坂さんよりお餅 2kg×5袋
- 1月13日 社会福祉協議会より匿名で届いたお米5キロ×10袋
- 1月21日 社会福祉協議会より賞味期限が近いクラッカー(一缶35食×6)
- 2月18日 社会福祉協議会より水(ポルビック)500ml 24本入り5箱
- 3月4日 ワークライフ栄さんより爽快はなのど飴(アサグループ 食品株) 12袋

令和3年度の子ども食堂の状況

回数	子ども	大人	合計	食事代	スタッフ
24回	319人	327人	646人	99,921円	168人

収入合計	130,421円	支出合計	163,120円
助成金	30,000円	食材費	155,421円
寄付金	500円	クリスマス	2,713円
食事代	99,921円	消耗品	4,986円

○エコトピア酒々井（特別養護老人ホーム）での健康体操教室

エコトピア酒々井で例年毎月1回のペースで健康体操教室を行ってきた。しかし、新型コロナウイルスの影響で今年度は一度も開催することができなかった。今後はオンラインでの開催等を視野に入れながら、工夫して「心と体の健康」を増進していくプログラムを考えていきたい。

○イオン黄色いレシートキャンペーン（成田イオン）

黄色いレシートキャンペーンとは、イオンデー（毎月11日）にイオンで買い物をする際に出る黄色いレシートを登録している団体のボックスに投函すると、総額の1%がその団体に贈られるというものである。新型コロナウイルスの影響で、店頭での活動は一度も行うことができなかった。しかし、9月に3年度前期分10,800円いただき、翌年度4月にも後期分10,800円をいただいた。前期分はアツタくんでの遊び用具を購入し、後期は文房具などを購入した。